

2022年4月27日

各位

株式会社 SBI証券
株式会社 QDレーザ

全国の盲学校への網膜走査型レーザーアイウェア「RETISSA® Display II」寄贈のお知らせ

株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、2022年4月27日(水)に、2015年に国連にて採択された「SDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))」への取組みの一環として、株式会社 QDレーザ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:菅原充、以下「QDレーザ」)が開発した網膜走査型レーザーアイウェア「RETISSA® Display II」および同社新製品 RD2CAM(アールディ・ツー・キャム)各10台を、全国盲学校長会(所在地:東京都文京区、会長:木村利男)を通じて、全国各地の盲学校および視覚支援団体に寄贈しました。

RETISSA® Display IIは、眼鏡に内蔵された超小型プロジェクタで装用者の網膜上に直接映像を描き出すレーザー網膜走査技術「VISIRIUM®テクノロジー」※を採用したヘッドマウントディスプレイです。眼のピント調節機能の影響を受けにくいため、眼鏡やコンタクトレンズ等を用いずに、カメラ・パソコン・タブレット・スマートフォンの映像を視聴できます。また、RD2CAMはRETISSA® Display IIのメガネフレームに装着可能なカメラで、RETISSA® Display IIユーザーの皆様からご要望の強かった、最大3倍のズーム機能、読書時に効果を発揮する白黒反転機能、明るさの調節機能等が付いているアクセサリです。



図 アクセサリーカメラ RD2CAM と取り付けイメージ図。カメラ映像が網膜に投影されます。

※VISIRIUM®テクノロジー

<https://www.qdlaser.com/applications/eyewear/>

※RETISSA Display II・RD2CAMは、医療機器ではありません。特定の疾患の治療や補助・視覚補正を意図するものではありません。

盲学校および視覚支援団体における RETISSA® Display II の活用は、生徒たちのパソコンをはじめとする ICT (Information and Communication Technology、情報通信技術) 機器操作の可能性を広げ、コンピュータスキルの向上による就労支援につながることを期待されます。

このたびの寄贈が、RETISSA® Display II を使った児童・生徒の皆さんの学習効果向上に結び付き、より良い将来をつかみ取る一助となりますことを希望しています。

■ QD レーザ 会社概要

会社名	株式会社 QD レーザ (東証マザーズ:6613)
本社	神奈川県川崎市川崎区南渡田町1番1号
代表者	代表取締役社長 菅原充
事業内容	通信・産業・医療等の分野への半導体レーザーソリューションの開発・提供 半導体レーザー、網膜走査型レーザーアイウェアなどの開発・販売

本プレスリリースに関する報道機関からの問い合わせ先

株式会社 SBI 証券 経営管理部 広報担当 上柁(うわがき)・森田・武田・緒方 03-5562-7215

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部 :retissa@qdlaser.com